

令和4年4月22日
こども部こども保育課
0438-23-7245

新しい保育施設が誕生しました

少子化が進む中、木更津市における保育需要は依然として高く、子育てに関するニーズも多様化しており、保育園に期待される役割が増大しています。

木更津市では、限られた財源の中で、多様な保育ニーズにきめ細やかに対応し、保育事業を拡充していくため、市立保育園を、市内で民間保育園を運営する社会福祉法人に移管する「民営化」を進めてきました。

また、保育需要の増加に伴う待機児童の解消を図るとともに、充実した保育環境を整えるため、新たな保育施設の整備による受け入れ枠の拡大にも取り組んできました。

この度、令和4年4月1日に民営化した保育園が2園、新規開設の保育施設が4園、それぞれスタートしましたので、お知らせします。

1 市立保育園の民営化

施設名称	施設種別	移管先事業者	備考
久津間保育園	認可保育所	社会福祉法人岩根福祉会	旧) 久津間保育園
なかごう保育園	認可保育所	社会福祉法人かずさ萬燈会	旧) 中郷保育園

2 新規開設施設

施設名称	施設種別	運営事業者	所在地	定員
スクルドエンジェル 保育園アクアゲート	認可保育所	株式会社スクルドアンド カンパニー	金田西地区 3-1 街区 1 画地の 一部	70 人
オーキッド千束台保 育園	小規模保育 事業所	NPO法人 AlonAlon	千束台 1-14-9	19 人
ソフィアキッズ保育 園コスモ	小規模保育 事業所	NPO法人レイライン	長須賀 2353-1	19 人
ソフィアキッズ保育 園オーラ	小規模保育 事業所	NPO法人レイライン	長須賀 2353-1	19 人

3 待機児童

令和3年4月1日 90人 → 令和4年4月1日 6人

問い合わせ先
木更津市健康こども部こども保育課 安田
電話 0438-23-7245
Email kodomohoiku@city.kisarazu.lg.jp

1 市立保育園の民営化について

(1) 概要

平成29年6月に策定した「木更津市立保育園民営化方針」に基づき、昨年度の吾妻保育園に続き、地域における保育実績があり、地域住民からの信頼もある社会福祉法人へ、市立保育園を移管しました。

(2) 民営化の目的

民間保育園のもつ柔軟性や効率性を活かして、保育の質を確保しながら、多様な保育ニーズに迅速かつ効率的に対応するとともに、民間活力の活用により待機児童を解消し、併せて、地域における子育て支援の充実に向けた取組を推進することを目的としています。

(3) 効果・期待

①多様なライフスタイルに対応！

保育時間（時間外・延長保育含む）が変更されます。

②おとなも「やってみたい」と思える、魅力あふれる保育！

特色のある保育が展開されます。

③「みんながお隣同士」の地域交流！

地域の社会福祉法人だからこそできる地域交流で、子ども・保護者・地域を支える保育園となります。

【保育時間の変更】

	移管前	移管後
久津間保育園	7:00~19:00 (土曜日)7:00~14:00	7:00~19:00 (土曜日)7:00~19:00
なかごう保育園	7:00~19:00 (土曜日)7:00~14:00	7:00~20:00 (土曜日)7:00~20:00

【特色のある保育】

鮮やかな緑色の芝生の久津間保育園



子どもたちが走ったり寝転んだり、自分の体をたくさん使って遊びます。

日頃からの体作りを目的に長い距離でも最後まで歩く経験を積んでいきます。交通ルールに気を付けて歩くなど自分を守る行動も伝えています。

美しく広がる田園に囲まれている なかごう保育園



自然豊かな環境の中、花や野菜を育て季節を感じながら遊びます。

地域の食文化の伝承と身近な自然と触れ合うことでいろいろなことに興味を持ち、自らの行動を大切にします。

2 新規開設施設について

スクルドエンジェル保育園アクアゲート



情操豊かな「こころ」を伸ばす情操教育、健全な「身体」を育むリトミック・幼児体育、世界で通用する語学力の基本を身につけるための外国人講師による幼児英会話など、質の高い幼児教育プログラムを提供しています。

オーキッド千束台保育園



褒めて認めて励まして、「こども本人の意欲と興味」を引き出します。元気で逞しく、のびのびと「生きる力」を育みます。常に、こどもの最善の利益を考え、1人ひとりの成長発達に寄り添い「適切な育ちを保証」します。

ソフィアキッズ保育園コスモ・オーラ



0、1、2歳の大事な乳児期の子どもたちの気持ちに寄り添い、家庭的な保育を実践しています。リトミックや造形、英語遊びを取り入れた小規模保育施設です。

別紙

3 待機児童について

減少傾向にあった本市の待機児童は、令和2年度中の定員増を伴う施設整備がなかったことから、令和3年4月1日現在で90人（対前年28人増）となり、全国で6番目に多い市区町村となりました。

市では、市立保育園の民営化、民間保育施設の整備、保育士確保対策の3本柱により、待機児童の解消に取り組んできました。

これらの取組のもと、新規開設となった保育園の定員増（127人）などの効果により、待機児童は大幅に減少し、令和4年4月1日現在で6人となりました。

今後も、引き続き「待機児童ゼロの達成とその継続」のため、保育士の処遇改善や保育士資格の取得を目指す方への支援など、待機児童対策に取り組んでいきます。